様式 2

青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE）報告会の実施について

参加者名　　：　Alice Parent

派遣元加盟都市（国）：　モントリオール（カナダ）

行事名	（私の物語をあなたにお話ししました。これからは、あなたの物語でもあります：ヒロシマ、原子爆弾とその遺産）
実施日	2018 年 3 月 1 日
実施場所	大学のセミナーの教室
対象者 (属性･年齢等)	19 才から 24 才の医学部 1、2 年生
参加者数	約 10 名
報告会の概要等	私はセミナーの形式で報告会をすることにしました。大変なごやかな、双方向なものになるようにと考えてのことです。プレゼンテーションは 4 つの部分に分け、それぞれ約 15 分から 25 分の構成となりました。 1. 平和とは何か？（HIROSHIMA and PEACE カリキュラムの初回授業にヒントを得た、対話により展開する活動） 2. 惨事の背後にある歴史：日本、ヒロシマ、第 2 次世界大戦、原子爆弾 3. 原子爆弾の遺産（被爆者の方々の証言、平和記念資料館、平和記念式典、平和構築） 4. 核なき世界を目指すのか？　2020 ビジョン、平和首長会議、HIROSHIMA and PEACE 5. （まとめ：私は禎子さんのことを話し、小さな折り鶴をみんなに配りました）
その他 （参考となる URL 等を記載のこと。）	セミナーを行うために、主に HIROSHIMA and PEACE の講座で配布された資料を使用しました。小倉桂子さんの証言は、今もなお私の心を揺さぶり、プレゼンテーションをするにあたって最も大きな原動力となりました（彼女は私たちにこう語りました。「私の物語をあなたにお話ししました。これからは、あなたの物語でもあります。私の話を聞いたことで、あなたは証人の一人となったのです。今度は、あなたがこの物語を他の人々に伝える番です」それで行事名がこのようになっています）。 パワーポイントで資料を作るために、広島を旅した際に撮った写真だけを使用しました。それらの多くは平和記念資料館と平和記念式典で撮ったものです。

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局
E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp